

保育園新入園児の受付について

つよいからだ、ゆたかな心をもった自立する子どもを育てるために・・・

白川・平瀬保育園では、平成29年度新入園児の受付をします。
入園を希望される保護者の方は、次のとおり各保育園で手続きをしてください。

◆保育方針

幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期です。「健康で意欲的な子ども」を目指して、子どもの心情・意欲・態度を大切にしながら家庭と連携を密にして自然と文化に親しみながら保育を行っています。

◆保育園入園基準

保育園は保護者が仕事に従事・病気療養中・病人や高齢者を常時介護しているなどの理由で、家庭で十分に保育できない保護者に代わって、心身の健全な発達を図りながら、一般家庭と同様の保育をすることを目的とする施設です。(入園申込みの手続きをされてもその後の調査の結果や、家庭事情の変化によっては、保育をお断りする場合があります。)

保 育 園 入 園 基 準

1. 原則として白川村に住民登録があるお子さんが入園できます。
2. 保護者の方などが次の(1)～(7)のどれかに該当することにより、保育を必要とするお子さんが入園できます。
 - (1)「居宅外労働」………昼間に居宅外で労働することを常態としていること。
 - (2)「居宅内労働」………昼間に居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
※「常態」の基準 …… 1日5時間以上かつおおむね月15日以上
 - (3)「妊娠又は出産」………妊娠中であるか又は出産後間がないこと。(産前6週間、産後8週間の期間)
 - (4)「疾病・負傷など」………保護者が疾病にかかり若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有していること。
 - (5)「同居親族の介護」………長期にわたり疾病の状態にあるか、又は精神若しくは身体に障害を有する同居の親族を常時介護していること。
 - (6)「災害の復旧」………震災、風水害、火災、その他の災害の復旧にあたっていること。
 - (7)「その他」………村長が認める(1)～(6)に類する状態にあること。

・上記以外の理由の場合は、保育園へご相談ください。

◆新入園児の受付

施設名	白川保育園	平瀬保育園
所在地	白川村荻町1673番地	白川村平瀬126番地の10
受付期間	平成28年12月19日(月)から27日(火)までの午前9時から午後4時まで	
対象児童年齢	満1歳から ※1歳・2歳児については施設規模及び保育可能定員により、調査の結果、保育をお断りしなければならぬ場合がありますのでご理解、ご了承ください。 (現在の保育園で引き続き保育を希望される場合は、手続きは不要です。)	
保育時間	平日…8:00～16:00まで 就労等により保育を必要とする場合、17:30までの時間外保育があります。 土曜日(希望登園)…8:00～16:00まで(ただし、白保・平保いずれが一園で保育します)	
定員	60名	30名
保育料	保護者等の前年度の市町村民税額などで決定されます。また、同一世帯から2人以上の児童が入園している場合は、第2子は保育料基準表の1/2となります。 保育料の額について詳しくお知りになりたい方は、前年分の市町村民税額が分かる資料をご準備のうえ、保育園までお尋ねください。 第3子以降の保育料は無料です。	
保育料以外の費用	父母の会 会費………400円/月、2人目から200円/月	教材の一部負担………約400円/月

◆受付申込時の必要書類

1. 入園申込書 (児童1人につき1枚必要)
2. 添付書類 父・母・同居の祖父母 (65歳以上は除く)

※上記提出様式は、役場村民課及び両保育園で配布しています。

提出の対象となる方	提出書類
会社勤務又は自営業のために保育ができない方	就労証明書又は、自家営業就業申立書
内職又はパートのために保育ができない方	就労証明書又は内職証明書
ご家族の介護のために保育ができない方	病弱・看護等証明書
病気療養中等のために保育ができない方	医師の診断書又は病弱・看護等証明書
障がいがあるために保育ができない方	身体障害者手帳の写し
出産(予定)のために保育ができない方	母子手帳の写し
求職活動のために保育ができない方	入園前又は入園後3ヶ月以内に就労証明書を提出

◆決定通知及び入園説明会

1月下旬に各家庭へ、入園の承諾又は不承諾及び入園説明会案内の通知をします。

●問い合わせ先 白川保育園 TEL 6-1100

一時保育 のお知らせ

乳幼児が一時的な理由により家庭で保育できない場合に『一時保育』を行っています。
一時保育を利用される場合の理由は、

1. 保護者の勤務体系により、家庭での保育が一時的に困難となる場合
2. 保護者の傷病や冠婚葬祭等により、緊急一時的に保育を必要とする場合
3. 保護者の育児に伴う心理的、精神的負担の一時的解消の場合 等

利用料 3歳未満児・・・2,000円(4時間以上)と給食・おやつ代300円
3歳以上児・・・1,600円(4時間以上)と給食・おやつ代300円
詳しい内容については、各保育園にお問い合わせください。



地域おこし協力隊からこんにちは!

三年間お世話になりました!

いよいよ4回目の冬を迎えます。12月末で三年間の任期満了により協力隊から退任することになりました。

先日、村に来た当時の写真を偶然見つけましたが、二人の子供達はまだまだ幼く、次男にいたってはおしゃぶりをくわえていて、改めて相応の時の流れを実感しましたが、それでも、あっという間の三年間だったように思います。今となっては三年という年月で協力隊として果たして何が出来て、何が出来なかったのか。「私が何をしていたのかわからない」という多くの村民の皆さんの実感が全てで正しく、自身の力不足の程を真摯に受け止めざるをえません。

それでも、任期中には多くの方にご支援頂き、いつの間にか当たり前のように村に残ろうと考えている自分達の心境に少し驚くばかりです。引き続き、三年では成しえなかった想いを形にする努力を村で継続していきたいと考えています。

最後に三年間、本当にありがとうございました。この場をお借りして皆さんに御礼申し上げます。そして引き続き、家族共々どうぞよろしく申し上げます!(柴原)



白川郷ヒト大学、開校しました!

シブヤ大学・大ナゴヤ大学など、参加者を学生に見立てて、まちづくりを主体的に楽しみながら行う取り組み(実際の大学ではありません)が全国的に行われています。そこで白川村でも11月下旬に村内外の若者に向けた学びの場として、白川郷ヒト大学という取り組みを旧花植家を利用してもらい行いました。今回のテーマは「仕事と向き合うこと」。多様な働き方を実践する講師の話聞き、将来や現在の仕事について議論を交わす合宿を白川村というフィールドを使って行いました。講師の話聞きにくる中学生がいたり、村内外参加者から前向きな感想を寄せてもらうなど、充実した時間を過ごせたようで何よりです。今回、ご協力頂いた村民の皆様も本当にありがとうございました。また、2月以降も引き続き行いますので興味のある方は事務局までご連絡下さい。(柴原・前盛)

全国に広がる地域おこし協力隊の活動

11月27日に東京で開催された「第3回地域おこし協力隊全国サミット」に参加してきました。総務省主催のこのサミットの目的は、地域おこし協力隊員、受け入れ自治体関係者などの学びや交流、活動発表の機会を作ることです。当日は全国から協力隊約550名を含む1,000名程度が集まりました。平成21年度に89名で始まった地域おこし協力隊制度。平成27年度には2,799名の隊員が約700の地方自治体で活躍しています。特産品開発、直売所の運営企画、住民向け総合学習の企画、農家・漁師の担い手等々、所変われば協力隊の取り組みも様々です。

出会いと刺激に満ちた一日となりました。(石井)



わたし、旧寺口家に住んでいます！



①茅刈りとミニにゅうづくり！

秋の一斉茅刈りは、村内外の方が交流できる時間が多く、今後につながる満足度の高いイベントになったように感じます。2日目の「ミニにゅうづくり」は、「かややね会議」で企画したものです。会議参加者も当日、スタッフとしてお手伝いをしてくださりました。この企画を通して茅の保管方法の変移やにゅうの構造を知ることができてよかったと感想をいただいています。ミニにゅうをお気に入りのスポットで撮影しながら白川郷めぐり。ステキな写真がアップされていますので、instagram#ミニにゅうで検索してみてください。



②雪囲い「結」パーティ開催！

単身女性が白川村で暮らしていくには越えなければならないハードルがあります。雪囲いもそのひとつ。地域の方がお手伝いに来てくださったおかげで、あっという間に冬支度ができました。地域の方と「結」でつながってきたいと思っていますので、私にできることがあれば気軽に声をかけていただくと嬉しいです。お越しいただいた皆さん、本当にありがとうございました！

③水路掃除といのししの柵倒し！

いつも助けていただいていたばかりなので、私も地域の役に立ちたい！水路掃除といのししの柵倒しのお手伝いをさせていただきました。早起きして皆さんと一緒に汗を流すのは気持ち良かったです。

④消防訓練で火の用心！

合掌造りを火災から守るのも住人の大切な役割！発報してからの流れや、消火器の使い方も教えていただき気持ちが引き締められました。(福田)

「わたしたちの やまほし暮らし」

★募集要項★
 ①入居条件：女性（年齢・国籍は問いません）
 「かってこ雪花火」に関わってくださる方
 ※主に雪の降り合つくりや当日の屋合のお手伝いなど
 ②入居期間：2ヵ月程度（2017年1月～2月）
 ※ご要望により最長2年まで延長可
 ③入居費用：運営協力金→¥5,000/月
 水道光熱費→実費を入居者で按分/月
 ※敷金・礼金なし
 ④募集定員：1～2名

かってこ雪花火のお手伝いをしてくれる人を呼びこみたい！

やまほしでは地域行事に参画することで、コミュニティが広がり生活が楽しくなることを伝えていけたらいいなと思っています。そこで、やまほしに住みながら一緒に企画や準備、当日のお手伝いをしてくださる方を募集します。周りの方で興味がある方がいらっしやいましたら一度お問合せください。

お問い合わせ先：

地域おこし協力隊 福田 携帯電話 090-1279-0438

シェアハウスやまごや以上ほしぞら未満Facebookページ→



つつみだより

旧白川小学校を活用していく「つつみや」プロジェクトからのお知らせです。

12月・1月の開放日

営業日・営業時間のご案内

2016年12月						
日曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
		1	2	3	4	5
			9:00-17:00	9:00-21:00	休館日	休館日
5	6	7	8	9	10	11
休館日	休館日	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-21:00	休館日	休館日
12	13	14	15	16	17	18
休館日	休館日	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-21:00	休館日	休館日
19	20	21	22	23 水曜祭日	24	25
休館日	休館日	9:00-17:00	9:00-17:00	休館日	休館日	休館日
26	27	28	29	30	31	
休館日	休館日	休館日	休館日	休館日	休館日	

＼＼＼
 今年も最後の日に参りました。おなじみさんな1年だったでしょうか？
 今年びびご家族やご友人の方と、今年も賑やかに過ごしてください。来年もつつみやを宜しくお願いいたします。

お問い合わせ先：

白川村役場 6-1311

地域おこし協力隊 福田・前盛

つつみやFacebookページ→



動脈硬化を予防するため二次健診を受けましょう

白川村では、今年度より、特定健診の二次健診を行うことになりました。
対象者や検査内容等をよく読んでいただき、ご希望の方は、12月27日(火)までにお申し込みください。

対象者

- ・村内在住の50～74歳の方
- ・特定健康診査を受診した方で、メタボ・血圧・脂質・血糖等で注意を要する方
(事業所等で健診を受けられた場合は、健診結果を見せていただく場合があります)
- ・治療中の方は、主治医の了解をお願いする場合があります

健診日・場所 ※詳細は後日、申込者にお知らせします

- ・平成29年2月1日(水)、2日(木)のいずれか(午前中で終わります)
- ・久美愛厚生病院(マイクロバスで送迎します)

検査内容(無料)

○ 頸動脈エコー(超音波検査)

あお向けに寝た状態で枕を外し、首の部分に、ゼリーを塗り超音波をあてて、検査をします。
左右合わせて数分程度で終了する簡単な検査で、動脈硬化の程度を調べます。



○ 血圧脈波検査

あお向けに寝た状態で両腕・両足首の血圧と脈波を測定します。時間は5分程度で、血圧測定と同じ感覚でできる簡単な検査で、血管の硬さや狭窄をみます。

- 身体計測
 - 血圧測定
 - 血液検査
- 特定健診とほぼ同じ内容です

- 尿検査
蛋白・糖・潜血の他、微量アルブミン尿の検査も行います

申し込み・お問い合わせ 平成28年12月27日(火) 申し込み締切

白川村役場 村民課 担当(田川保健師・藤田管理栄養士) ☎ 6-1311

ウォーキング1,825万歩達成!!

10月3日に開催した「ウォーキング体験会」にて、長年ウォーキング等の運動を頑張っている方の表彰を行いました。表彰者は、これまで記録されている歩数が通算1,825万歩を達成された3名です。
みなさんも、健康のためにウォーキングを始めてみませんか?歩数を記録することができる「ウォーキング記録帳」を配布しておりますので、興味のある方は、村民課 ☎ 6-1311 までお問い合わせください。



北田 了子さん(平瀬)



南 照子さん(鳩谷)



森井 敏子さん(鳩谷)

今年も福島県飯舘村民の方が来村されました!

今年度も11月14日～17日の日程で福島県飯舘村の方を31名ご招待し、3泊4日でツアーを行いました。この事業は東日本大震災で被災した福島県飯舘村の皆さまが日頃避難生活で感じているストレスをリフレッシュしていただくとう企画しました。今回でこのツアーは最後ということでしたが、飯舘村民の皆さまは終始元気に楽しく過ごされていました。4日間の行程をご報告させていただきます。

保育園児の皆さんによるお遊戯や合唱に飯舘村の皆さまは感激していました。飯舘村の副村長さまより今回までの受入についての御礼の言葉もありました。

日中は高山市ご協力のもと、観光ガイドによる高山陣屋・市内散策を行っていただきました。夜はふじや旅館にて、明生長寿連合会の皆さんと一緒に両村大交流会を行いました。飯舘村の皆さまが元気に白川村民とダンスをする姿にこちらも大変元気を頂きました。

《1日目》

午後3時 白川保育園にて歓迎式典

《2日目》

午前8時 自然学校にて自然体験

午前10時 白川郷学園において歓迎会

午後1時 世界遺産白川郷荻町集落見学

午後3時 喫茶落人にて談笑・おもてなし

《3日目》

午前10時 陣屋・古い町並みの観光

午後1時 高山市内散策

午後4時半 ふじや旅館にて両村大交流会

午後9時 平瀬の旅館にて宿泊

《4日目》

午前8時半 南部地区公民館にてお見送り会

午前9時 村を出発

午後4時半 福島到着

白川郷学園での歓迎会では、児童生徒の皆さんによる学校紹介や民謡・合唱を披露していただきました。気合の入った応援や心こもった合唱、各地区の民謡を一生懸命踊る姿に飯舘村の皆さまは大変感心されるとともにお孫さんのことを想像され涙される方もいらっしゃいました。午後からはガイドの案内のもと白川郷観光を行いました。その後、喫茶落人のご厚意でぜんざいなどいただきました。

お見送り会ではツアー関係者以外の村民の方もお越しいただきました。川田議員にお別れのあいさつをしていただいた後、飯舘村を代表して高橋文男さまより感謝の言葉をいただきました。その後全員で集合写真を撮り、白川村のお土産と共に福島県のそれぞれのご自宅へと帰られました。

今年度も多数の村民皆さまにメッセージをいただく等ご協力いただきました。今年の参加者の皆さまは大変元気な方ばかりでした。お手紙もいただき「白川村の皆さまのあたたかい心が身にしみました」とのことでしたが、逆に飯舘村参加者の皆さまよりこちらがたくさん元気を頂いたという印象深いツアーになりました。



またこれまでのツアーの感謝として飯舘村役場より沢山のリンゴをいただきました。いただいたリンゴはこれまでご協力いただきました村民皆さまにお配りするのが本意ですが、学校給食として児童生徒・園児の皆さんに食べていただくようにしました。これまでのツアーにご協力いただきました村民の皆さま、各種団体の皆さま、そしてツアーに関わっていただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

《今回ご協力いただいた皆さまのご紹介です》

白川村民の皆さま、白川村立白川・平瀬保育園、白川郷学園白川小学校・白川中学校、(有)城山天守閣、文教スタヂオ(株)、白川郷観光ガイドサービス、(一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団、白川八幡宮(どぶろく祭りの館)、明善寺、神田家、喫茶落人、高山市観光課、高山陣屋、高山市シルバー人材センター、坂口屋、藤助の湯ふじや旅館、御母衣旅館、湯の里、明生長寿連合会、白川郷民謡愛好会、平瀬区、白川村商工会青年部、白川郷観光協会青年部、白川郷土産品組合、トヨタ白川郷自然学校、白川診療所、阿武悦司、上手重一、工藤伸也、武田葉子【順不同、敬称略】

みんなのスポーツ

(敬称略)

活躍した選手の皆さんを紹介します!

柔道

文部科学大臣杯争奪

第25回日整全国少年柔道大会

10月9日 講道館

敢闘賞 岐阜県

※尾崎仁君が岐阜県代表として出場しました。



第7回スポーツひのまるキッズ 北信越小学生柔道大会

11月13日 アルビス小杉総合体育センター

小学1年生男女混合 無差別級

3位 荻田涼太 (平瀬道場: 飯島)

小学5年生男子 無差別級

2位 尾崎 仁 (平瀬道場: 平瀬)

また尾崎君は試合前後の礼法、試合態度などのマナーが評価される「マナー賞」を受賞しました。



第18回多治見市少年柔道大会

10月30日 多治見市総合体育館

小学生1年 女子の部

2位 鳥原雫愛 (平瀬道場: 平瀬)



バドミントン

第33回村民バドミントン大会

11月4日 白川中学校体育館

優勝 原田隆介・上手恵介ペア

2位 鈴口智也・和田典勝ペア

3位 田口貴之・堅田瑞穂ペア



今回の訓練は一階ランドリー室より出火したと想定し、施設職員による一一九番通報・初期消火・避難誘導訓練を行い、一名逃げ遅れの情報を受け、白川出張所による消火及び要救助者の救出訓練を実施しました。高齢者福祉施設では、避難が容易に行えない方も見える中、施設職員が迅速に誘導されるなどの確な対応をして訓練が実施できました。

【さくら山荘消防訓練】

十一月十六日、秋の火災予防週間に伴い、さくら山荘において消防合同訓練を実施しました。

【白川・平瀬保育園 白川出張所見学】

十一月二十四日、白川・平瀬保育園の園児(年長)が所見学に訪れました。普段見たことのない白川出張所の中や消防車両に乗っていたら、最後に放水体験も実施されました。皆さん興味深く見学されており、この中から未来の消防士が誕生するかもしれません。



11月中の火災と救急 火災 0件 救急 8件 救助 0件

消防署だより

平成二十八年年度 全国統一防火標語
『消しましょう その火その時 その場所で』



これからのシーズン寒くなり暖房器具等、火を取扱うことが多くなりますので、防火意識を高く持ち火災予防に努めましょう。

